DHCP

【1】DHCPの設定

CCNA では難しい DHCP のコマンドは出題されないと思いますが、実務では大変重要です。 Linux でも DHCP の実習はしました(NT43 Linux 資料 21 DHCP サーバ (6 月 26 日))ので概要は大丈夫でしょう。

★★課題 11 あり ←最後の課題です!

DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)は、IP アドレスなど必要な情報を自動的に割り当てる機能です。 DHCP サーバは、クライアントの要求に対して、あらかじめプールされた IP アドレスの中から、使用されていないアドレスを選び、一定期間、クライアントに割り当てます。

IP アドレスだけでなく、デフォルトゲートウェイや DNS サーバの IP アドレス、サブネットマスクなど、同一サブネット内で共通して使われるパラメータを配布することができます。 クライアントが通信を終えると自動的にアドレスを回収し、他のコンピュータに割り当てます。

DHCP を使うことで、ユーザに自動的に、IP アドレスを始めとするパラメータを割り当てることができ、ネットワーク管理者は、多くのクライアントを容易に一元管理することができます。 enable

Cisco ルータでも DHCP をサポートしています。

プール名: sales logging synchronous no exec-timeout exit

Router(config)#inter giga 0/0/0
Router(config-if)#ip address 172.16.1.1 255.255.255.0

outer(config-if)#exit

configure terminal no ip domain-lookup

●プールの作成

DHCP のプールを作成するには、まず、「ip dhcp pool」コマンドを入力します。するとプロンプトが、「dhcp-config」に変わります。

E0: 172.16.1.1/24

Router_A

そこで、プールのアドレスの範囲を指定したり、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバ、WINS サーバなどを指定します。

Router(config)#ip dhcp pool {プール名}

Router(dhcp-config)#network $\{ ネットワークアドレス \} \{ サブネットマスク \}$

Router(dhcp-config)#default-router {デフォルトゲートウェイの IP アドレス}

Router(dhcp-config)#dns-server {DNS サーバの IP アドレス}

他にも

Router_A(dhcp-config)#?

で確認すると以下のオプションも用意されています。

Router_A(dhcp-config)#? ← 「Cisco Packet Tracer」は少ない・・・

DHCP pool configuration commands:

bootfile Boot file name
client-identifier Client identifier
client-name Client name
default-router Default routers
dns-server DNS servers
domain-name Domain name

exit Exit from DHCP pool configuration mode

hardware-address
Client hardware address
host
Client IP address and mask

import Programatically importing DHCP option parameters

lease Address lease time

netbios-name-server NetBIOS (WINS) name servers

netbios-node-type NetBIOS node type

network Network number and mask next-server Next server in boot process

no Negate a command or set its defaults

option Raw DHCP options

●IP アドレスの除外

ネットワーク内には、ルータや各種サーバが存在します。それらの IP アドレスと DHCP で払い出す IP アドレス が重複するとネットワークが機能しなくなってしまいます。

「ip dhcp excluded-address」 コマンドを使用するとプールの中から**除外する IP アドレスを設定**することができます。

・範囲を指定して除外する場合

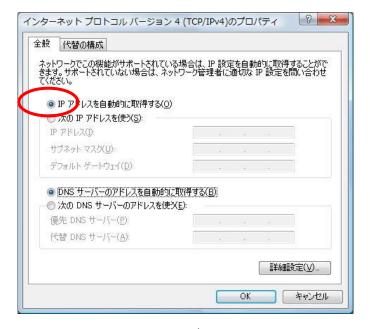
Router(config)#ip dhcp excluded-address {除外する開始 IP アドレス} {除外する終了 IP アドレス}

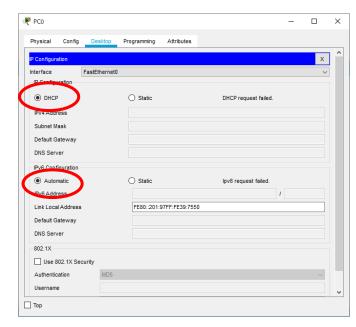
・単独指定で除外する場合

Router(config)#ip dhcp excluded-address {除外する IP アドレス}

◆PC1 の設定

PC1のIPアドレスは、自動取得にしておきます





Windows の設定

Cisco Packet Tracer の PC 設定

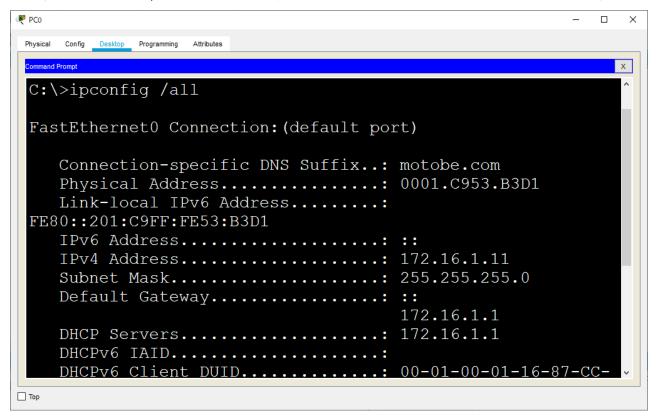
```
◆ルータの設定
Router_A(config)#ip dhcp excluded-address 172.16.1.1 172.16.1.10 ←除外範囲
Router_A(config)#ip dhcp pool sales ←プール名(sales)は何でも可
Router_A(dhcp-config)#network 172.16.1.0 255.255.255.0 ←割り振るアドレス
Router_A(dhcp-config)#default-router 172.16.1.1 ←デフォルトゲートウェイ
Router_A(dhcp-config)#dns-server 172.16.1.2 ←DNS サーバ
Router_A(dhcp-config)# domain-name motobe.com ←ドメイン名は自由
```

```
hostname Router_A
!
ip dhcp excluded-address 172.16.1.1 172.16.1.10
!
ip dhcp pool sales
    network 172.16.1.0 255.255.255.0
    default-router 172.16.1.1
    dns-server 172.16.1.2
!
interface FastEthernet0
ip address 172.16.1.1 255.255.0.0
speed auto
```

◆確認

PC においてルータの DHCP から IP などが割り振られている事を確認 ←Linux の時と同じです

- ・IP アドレスが 172.16.1.11 に設定されているか。 ←1~10 は除外範囲
- ・ドメイン名が motobe.com、デフォルトゲートウェイが 172.16.1.1(ルータ)になっているか 等

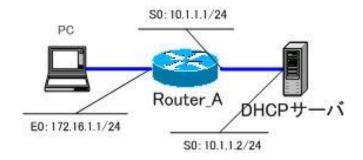


【2】DHCP リレーの設定 (ip helper-address) (ここが課題!)

IP アドレスを自動取得に設定した端末は、自分の所属するセグメント上で **DHCP サーバを探すために、IP** ブロードキャストを使用します。

DHCP サーバと同じセグメントに端末が存在すれば、IP アドレスなどのパラメータを取得できますが、同じセグメントに存在しない場合は、どうなるのでしょうか?

ルータは、ブロードキャストを転送しないということを思い出して下さい。下の図のようなネットワークの場合、 端末は IP アドレスを DHCP サーバから取得できません。



ルータを超えて DHCP サーバへアクセスするには、以下の方法があります。

- ・全てのセグメントに DHCP サーバを用意する方法
- ・OS の DHCP リレーエージェントを使って転送する方法
- ・ルータの DHCP リレーエージェント機能を使う方法

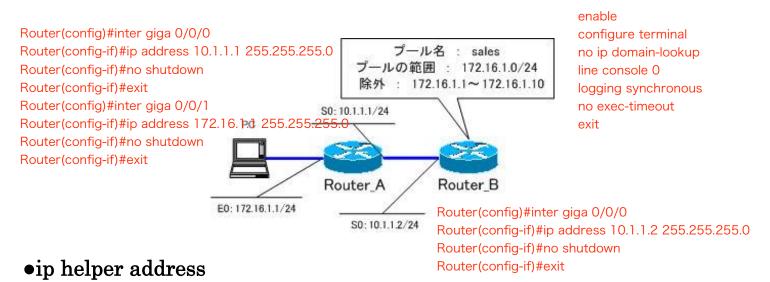
「全てのセグメントに DHCP サーバを用意する方法」は、セグメントの数だけ DHCP サーバを用意することになるので、管理の手間がかかってしまいます。

「OS の DHCP リレーエージェントを使って転送する方法」は、OS 側で DHCP リレーエージェントのサービス を有効にして DHCP 要求を別のネットワーク上にある DHCP サーバへ転送する方法です。この方法も、DHCP リレーエージェントをセグメントごとに用意しなければなりません。この方法も管理の手間がかかります。

「ルータの DHCP リレーエージェント機能を使う方法」は、ブロードキャスト要求をリレーする方法です。 **Cisco IOS のヘルパーアドレスという機能を使用すると UDP の主要サービスへのブロードキャストをリレーすることができます。**

ネットワークの境界に位置するルータでこの機能が利用できると、DHCP サーバの配置にもよりますが、設置する DHCP サーバの台数、DHCP リレーエージェントの数を削減することができます。

Cisco ルータでブロードキャスト要求をリレーするには、「ip helper-address」コマンドを使用します。



「ip helper address」コマンドを使うと、ブロードキャストパケットを特定のサーバにユニキャストすることができます。

Route(config)#ip helper-address {転送先 IP アドレス}

●Router A の設定

Router_A 上で、「ip helper address」 コマンドを使って DHCP のブロードキャストパケットを DHCP サーバへ 転送するように設定します。インタフェース設定モードで、コマンドを入力します。

Router_A(config)#int e0

Router(config)#inter giga 0/0/1

Router_A(config-if)#ip helper-address 10.1.1.2

Router(config-if)#ip helper-address 10.1.1.2

```
•Router_Bの設定
Router_B(config)#ip dhcp excluded-address 172.16.1.1 172.16.1.10
Router_B(config)#ip dhcp pool sales
Router_B(dhcp-config)#network 172.16.1.0 255.255.255.0
Router_B(dhcp-config)#default-router 172.16.1.1
Router_B(dhcp-config)#dns-server 172.16.1.2
Router_B(dhcp-config)#domain-name motobe.com
Router_B(dhcp-config)#exit
Router_B(config)#ip route 172.16.1.0 255.255.255.0 10.1.1.1
```

●Router_A の設定

```
!
interface Ethernet0
ip address 172.16.1.1 255.255.0.0
ip helper-address 10.1.1.2
!
interface Serial0 ←学校ではイーサネットで
ip address 10.1.1.1 255.255.255.0
clockrate 64000
```

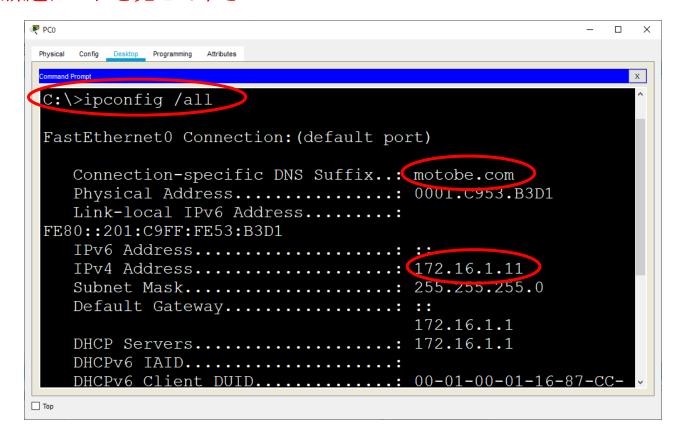
●Router_B の設定

```
| hostname Router_B
| ip dhcp excluded-address 172.16.1.1 172.16.1.10 ←オプション
| ip dhcp pool sales
| network 172.16.1.0 255.255.255.0
| default-router 172.16.1.1
| dns-server 172.16.1.2
| domain-name motobe.com
```

```
!
interface Serial0 ←学校ではイーサネットで
ip address 10.1.1.2 255.255.255.0
no fair-queue
!
ip classless
ip route 172.16.1.0 255.255.255.0 10.1.1.1 ←今回はルーティングを使用していないため
```

PC1 から、「10.1.1.2」 \sim Ping をしてみます。Ping は成功するはずです。DHCP サーバを探すための IP ブロードキャストが、 Router_A により Router_B に転送され、PC が、IP アドレスを取得できていることを確認できます。

※課題はこれを見せて下さい!



●課題 No.11 ←最後の課題です! (課題 No.12 は後期試験)

主題:「Cisco 実機操作」 日付:2月26日 教員:元部 重和